

第3学年 体育科学学習指導案

指導者 長 賢司

1. 単元名 タグラグビー (ボール運動)

2. 運動の特性

(1) 一般的特性

タグラグビーは、ラグビーからタックルなどの接触プレーを一切排除したゴール型ゲームである。また、1・2学年での鬼遊びや、しっぽ取りを発展させたボール運動である。楕円球のボールを抱えて自由に走り回ることができ、相手を抜いたりパスをつないだりしてトライすることを楽しめるゲームである。一方、ボールを前に投げてはいけない(スローフォワード)やボールを前に落としてはいけない(ノックオン)などのタグラグビーのルールは、子どもたちには初めての体験で、身につけるまで時間がかかることもある。

タグラグビーが体育の教材として優れている点は、「ボールに対する恐怖心が薄い」「全員にボールが渡りやすい」「全員に得点のチャンスがある」「運動量が豊富である」「チームでめあてや作戦を立ててゲームができやすい」「敏捷性やバランス感覚を養うことができる」ことだと考えられる。とくに、相手を交わそうとするときのステップや、相手の動きを見ながらタグをとってディフェンスをすることで、他の運動の基礎となる敏捷性を身につけられるのではないかと考える。

(2) 子どもから見た特性

男子7名、女子17名計24名の子どもたちである。休み時間は外で遊ぶ子どもが多く、サッカーやおにごっこをして遊んでいる。体育の授業アンケートでは、全体的に体育が楽しいと感じている子どもが多い。「どんなときが楽しいか」という問いには、友だちと協力できたときが18人、自分のめあてができたときが14人と、ただ体を動かすことだけでなく、他者との関わりや、めあての達成感で楽しいと感じている子どもが多い。一方、「どんなときが楽しくないか」という問いには、ボールが回ってこないときと友達にせめられたときが12人と多く、他者との関わりがうまくいかないときに楽しくないと感じているようである。好きな運動は、リレー、ドッジボール、サッカー、水泳のボール運動や勝敗の決する運動である。苦手な運動は、鉄棒やサッカー、ドッジボールなどで、こわい、痛いと感じる運動である。子どもたちが好きなサッカーやドッジボールは、苦手な運動としても挙げられている。これは、運動の得意な子どもの運動量は非常に多いが、苦手な子どもは、こわい、痛いという感情があるため、ボールから離れて触れることがほとんどなく運動量もわずかで、楽しさを感じられないということであろう。

これまでの、体育の授業では、めあてを持って課題解決的な学習はほとんどしたことがなく、チームや友だちと見合い、教え合い、話し合いをした学習経験もあまりないようである。しかし、リレー運動では友だちを応援したり、バトンの渡し方を渡す者と、渡される者でよりよくしようと教え合ったりしている姿が見られた。アンケートの結果も考えると、見合い、教え合い、話し合いの仕方を指導したり、学習カードの工夫をしたりして、めあて学習を行えば、今まで以上に仲間とのコミュニケーションが深まり、体育の授業が楽しいと感じられるようになるのではないかと考えられる。

そこで、ボールに対して比較的恐怖感を味わわずに、自由奔放に走り回ることができ、チームでめあてを持ってゲームのしやすいタグラグビーを行うことにした。ボールを後ろにいる人にしか投げられないため、苦手な子どもでもトライをしたり、アシストをしたりするチャンスがある。勝利に向かって、チームでめあてを持って取り組み、教えあったり、

話し合ったりすることもできやすい。

また、チームでめあてを持ち、練習方法を選んで、ゲームをしていく中で、「One For All , All For One (一人はみんなのために、みんなは一人のために)」という言葉を中心にチームワークを強めていきたい。そして、極端に勝敗にこだわることをないように、「ノーサイド(試合終了後は敵味方なし)」というラグビーの精神を教え、勝敗に対する公正な態度を身につけさせたい。

(3) 指導にあたって

タグラグビーには、攻撃と守備の両方の側面からの視点があるが、本単元では、視点を絞った学習を進めるため、ランとパスといった攻撃面に重点を置いためあて作りをさせる。学習カードを用意し、チームのめあてを持ち、チームではどうだったか、一人ひとりではどうだったかを振り返らせていきたい。

まず、「はじめ」の段階では、体ほぐしの運動として運動の基礎となる感覚運動で十分タグ遊び(タグを使ったしっぽ取りなど)をさせる。2時間目からタグラグビーに入っていくが最初にタグラグビーのビデオを見せる。相手をかわして走ったり、友達にパスを回しながら攻めたりするプレーに目を向けさせながら視聴させる。その後、ルールを確認し、単元の最後に「チーム対抗タグラグビー大会」をすることを子どもたちに知らせ、試しのゲームをやってみる。チームについては、運動能力や走力、地チームでの話し合いの中心となるリーダーシップの面でできるだけ等質となるように、担任と相談して決める。1チームが4人のグループを2つ合わせた8人のペアチームを3チーム作る。

「なか」の段階では、「パスをつないで攻めよう」という課題を投げかけ、それに向けて個人のスキルの高まりと、チーム力の高まりが感じられる練習方法や場の工夫をしていきたい。「なか①」では、授業の前半を全体練習とし、チーム練習に使える練習を指導する。特に「ボールを持ったらタグをとられるまで走る。」「タグをとられたらパスをする。」「ボールを持っていない人は、ボールを持っている人についていく。」という基本的な動きが身につけられるような練習を取り入れる。後半はゲームを行う。ゲームは5分1本の試合を行い、試合をしていないペアは、試合をしているペアチームのめあてができていたかを見て、試合後に学習カードに記入する。「なか②」では授業の前半をチーム練習とし、自分たちのつまずきにあった練習をチームごとに選んで練習させる。「なか①」で練習したことを図で掲示したり、プリントにまとめておき、自分たちで選べるようにしておく。特に「相手のいないところを見つけ、そこを攻める。」ことを意識させていきたい。後半は「なか①」と同様に試合をする。次の授業で生かせるように、学習カードに反省を記入させる。

「おわり」の段階では、3チーム総当たりの「タグラグビー大会」を行う。それぞれのチームがこれまでの学習で得た技能を生かし、チームのめあてを持って試合をする。

試合については、審判は教師がつとめる。ルールはタグラグビーの基本的なルールに沿って行うが、段階ごとに子どもたちの運動レベルを見てルールを変更することも行う。また、パスに気持ちを向けさせるために「なか②」の段階では、パスをつないでトライした場合は、ボーナス点2点入るとしたい。

教師は、様々な場で肯定的な評価を積極的に行い、意欲付けをしていく。チームのめあてを把握し、めあてがうまくできたときには言葉をかけ評価する。ゲーム中には、ゲームがとぎれた時を使い、次のプレーに生きる評価をしていきたい。

技能レベルを設定し、学習のめあてづくりや評価に生かす。多岐にわたるタグラグビーの技能であるが、ねらいと評価から、本単元では攻撃面、特にパスをもらうときの動きを絞って設定した。

○攻撃の技能レベル

レベル1 じっとせずに走る。

レベル2 パスをもらったら前に走る。

レベル3 走りながらパスをもらう。

レベル4 声を出して、走りながらパスをもらう。

3. 学習のねらいと道すじ

(1) 学習のねらい

・チーム内で互いに教え合ったり、励まし合ったりしながら協力して、楽しく運動することができる。(関心・意欲・態度)

・自分のチームにあつためあてを持ち、その達成に向けた練習を選んだり、工夫したりすることができる。(思考・判断)

・相手をかかわして走ったり、パスをつないだりしながら、相手陣地に攻め込むことができる。(技能)

(2) 学習の道すじ

ねらい1 「はじめ」の学習を生かし、簡単なゲームを楽しむ。

ねらい2 チームに適した練習を選び、めあてを持ってゲームをする。

4. 単元の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	技能
○運動に進んで取り組み、ルールを守り、安全に気をつけながら練習やゲームをしようとしている。	○チームや個人の技能向上に向けて、自分のチームに適した練習の方法を選んだり、簡単な作戦を立てたりしている。	○パス・キャッチや、相手をかかわして走る、相手のタグをとるなどの基本的な技能を使って易しいゲームができる。
①互いを認め合い、励まし合いながら、練習やゲームに進んで取り組もうとしている。 ②ルールや安全のための約束を守り、審判の判定に従おうとしている。 ③用具の準備・片付けや分担した仕事などを協力して行おうとしている。	①楽しくゲームをするためのルールや約束事を理解している。 ②ゲームを振り返り、チームや自分のつまずきや、課題を考えている。 ③個人やチームの課題に適しためあてを考えたり、練習を選んだりしている。	①ボールを持って前に走る後ろへパスする、相手のタグをとるなどの基本的な動きができる。 ②パスをもらえる位置に動き、パスをもらって走ることができる ③相手をかかわしたり、パスをつないだりして攻めることができる。

5. 指導計画 (全9時間)

段階	時間	学 習 活 動	評価計画		
			関心	思考	技能
		○タグラグビーの基本となる技能を含んだ運動遊びをす			

はじめ	1	<p>る。</p> <p>1. 準備運動（5分）</p> <p>2. タグの使い方（5分）</p> <p>3. タグを使った運動遊び（30分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人タグとり・手つなぎタグとり・ボールオアタグ ・タグとりおに・円陣パス・通り抜けおに など <p>4. 感想発表・片付け（5分）</p>	①		
	2	<p>○ルール・基本技能について理解し、学習のねらい、進め方について見通しを持つ</p> <p>1. 準備運動（5分）</p> <p>2. タグを使った運動遊び（10分）</p> <p>3. オリエンテーション（12分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・VTRの視聴 ・ルールの説明 ・チーム編成 <p>4. 試しのゲームを行う（18分）</p>	①	①	①
なか	3	<p>○「はじめ」の学習を生かし、簡単なゲームを楽しむ。</p> <p>1. 準備運動（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームごとにストレッチ ・ボール扱いになれる運動を取り入れた運動 <p>2. 基本練習（全体指導）（14分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チーム練習につながる練習をする 	③	②	①
	4	<p>タグをとる練習、相手をかかわす練習、パス練習 少人数のゲーム練習、作戦につながるプレーの練習</p> <p>3. めあてづくり（3分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームごとに話し合い、学習カードに記入する。 	②	②	②
	① 5	<p>4. . ミニゲーム（20分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5分1本の対抗戦、ペアチームで見合う <p>5. 反省（3分）</p>	①	②	②
なか	6	<p>○チームに適した練習を選び、めあてを持ってゲームをする。</p> <p>（ねらい2）</p> <p>1. めあての確認、練習内容の決定（3分）</p> <p>2. 準備運動（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームごとにストレッチ、円陣パス 	①	③	②
	7	<p>3. チーム練習（14分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・練習メニューの中から2つずつ選んだ練習を、チームごとに行う。 	①	③	③
	② 8	<p>4. ゲーム（20分）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5分1本の対抗戦、ペアチームで見合う <p>5. 反省と次時のめあてについての話し合い（3分）</p>	①	③	③
おわり	9	<p>○学んできたことを生かして、作戦を立ててゲームを楽しむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タグラグビー大会 	①	③	③

6. 本時案（7時間）

(1) 題目 「みんなでパスをつないでせめよう」

(2) 主眼 タグラグビーのゲームを、今までしてきた練習の中からチームの課題に適した練習方法を選んだり、チームのめあてを意識しながら運動したりすることによって、みんなでパスをつなぎながら楽しむことができる。

(3) 展開

学習活動	時	支援及び留意点	評価	
1. 準備運動をする。	3	○チームごとに、ストレッチ及びボールを使った準備運動を行わせる。	関心 ①	
2. 活動内容の確認をする。	5	○前時の反省をもとに、チームのめあてを立て、それに合ったドリル練習を1つを選択する。		
3. チーム練習をする。	14	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">みんなでパスをつないでせめよう</div> ○チームごとに選択したドリル練習とゲーム練習とゲーム練習をさせる。 ・ドリル練習・・・相手をかかわず練習、パス練習 ・ゲーム練習・・・少人数のゲーム練習 ・コートを6つに分け、他のチームとぶつかることのないように安全に気をつけさせる。 ・技能面でうまくできていない子やチームには、模範指導をしたり、個別指導をする。 ○チームのめあてを意識して練習ができているか、声掛けをしながら確認する。		
4. チームのめあてを意識したゲームをする。	20	○チームのめあてを意識させながらゲームを行わせる。 ・教師が審判をする。 ・ゲームのないチームは分担して、得点係を行う。 ・ゲームをしてないペアチームは、ゲームをしているペアチームのめあてができているかを見て、ゲーム終了後学習カードに記入する。		技能 ③
5. 学習のまとめをする。	3	○学習カードを使い、本時を振り返らせる。 ・チームのめあてについて反省を出し合い、次につながるまとめをさせる。 ・ペアチームからの、アドバイスも生かして反省をする。 ・一人ひとり学習のめあてができたかどうか、◎、○、△で記入させる。 ・パスをよくつないで攻めていたチームを取り上げ、技能の上達を評価する。		思考 ②

下北小3年生 タグラグビーのルール

(1) 試合について

- 4対4のゲーム。前後半5分。中央からのフリーパスでスタートする。
- 開始と終了（ノーサイド）の時には必ず礼をし、全員であくしゅをする。

(2) 得点方法

- ボールを持って、相手のゴールラインをこえると1点入る。
- 4人が全員トライかアシストした場合は、ボーナスポイント2点が入る。

(3) 攻守の交代

- トライをすると交代する。
- トライ前にタグを5回とられたら交代する。
- タッチラインからでたら交代する。
- ファールがあったら、交代する。
- 地面に落ちたボールを相手チームがひろえば、交代する。

(4) パスについて

- タグをとられたら3歩・3秒以内に味方にパスをする
- ボールを前に投げてはいけない。（スローフォワード）
- ボールを前に落としてはいけない。（ノックオン）
- パスカット、まちぶせタグはしない。

(5) タグについて

- タグをとったら頭上に上げ大きな声で「タグ」とさけぶ。
- ボールを持ったプレイヤーのタグしかとることはできない。
- とったタグは手わたしで返す。
 - ・返したらゲームに参加できる。
 - ・返してもらったタグを付けたらゲームに参加できる。
- タグを両方付けていないプレーヤはゲームに参加できない。
- ゴール手前5m以内でタグをとられたら時には、5m前にもどる。

(6) ノーコンタクト

- 相手にぶつかってはいけない。
- 立ってプレーし、体を1回転したらいけない。
- タグを取りにきた手をはらったり、ブロックしてはいけない

(7) フリーパス

- 守り側は5mはなれる。パスがでるまで動いてはいけない。
- パスをもらう人は2m以内でパスをもらう

(8) みんなで楽しむために

- 準備や片付けは全員でします。道具はそろえて片付けます。
- 大きな声を出して指示したり、はげましたり、おうえんしたりしましょう。
- 学習カードに思ったことや考えたことを書いて、たくさん発表しましょう。